

# 支援している児童・生徒のプロフィール(2006)

2006/4/3

	学年 母語	支援 教科	活動場所	曜日 時間	来日	支援開始の時期ときっかけ	支援方法
1	小4 韓国語	社会	大学内 教室	金 17:00- 18:30	2005年6月	2005年10月より支援開始。学校に 来ていた韓国語通訳の方からLAMP を知る。	韓国語母語話者と日本語母語話者がク ラスに参加し、チームティーチング。教 科書の内容確認から、テーマについての アイデアを広げるやりとり。4月以降韓 国語母語話者が支援中止のため、母親 を巻き込んでの支援を計画。また支援 曜日、教科についても変更の可能性あ
2	小5 韓国語	社会	大学内 教室	金	2004年7月	2005年10月より支援開始。2005年 の夏休みのお茶大の教育実習に参 加。日常生活の日本語は不自由し ていないが、社会科は背景知識が ないので、学校の授業だけでは理 解できない。	母語話者と日本語話者支援者によ支援 を行っている。まず、母語でのやりとり の中で、理解、そのあと日本語で再確認す る。母語及び日本語のワークシートで読 み書きによる理解も行う。漢字語彙の読 みの確認も行う。
3	小6 中国語	国語	大学内 教室	火 15:00- 17:30	2005年7月	2005年9月より支援開始。当時の在 籍校の担任の先生から支援依頼の 連絡が入る。	日本人支援者と母語話者がクラスに参 加し、チームティーチング。教科書の母 語訳と母語によるワークシートを使用。
4	小6 スペイン 語	国語 (取り出 し)	在籍校	月・火	2005年4月	2005年9月より本格的に支援開始。 6月から小学校に編入した。初期指 導は6、7月のみ。そのあと2学期か ら日本語指導員として入り込み支援 (月曜1～6限まで)、取り出し支援(火 曜日2限)を行う。	入り込み支援では、スペイン語の通訳と して参加する。取り出し授業では、国語 の教材を使用し、彼女の母語であるス ペイン語を使用し内容の確認をし、さら に日本語で音読、ワークシートに取り組 んだりしている。
5	中2 中国語	国語	大学内 教室	火 16:00～ 18:00	2004年1月	2005年4月より本格的に支援を開始 する。	母語話者による中国語での内容説明、 中国語訳の解説が行われた後、日本語 で音読をし、ワークシートに取り組む。 口頭確認のみでワークシートに書きこ みをしていない場合もある。
6	高2 タガログ 語 英語	国語 社会	大学内 教室	水 18:00- 20:00	2002年6月	2002年11月、区の教育委員会の先 生から紹介され、中3まで数学の支 援を受けていた。高校の授業につい ていくのが大変だということで再び 支援を希望する。	主に英語を使って支援を行う。子ども が学校でわからなかったところを申 告し、それを中心にサポートする。国 語は一緒に本文を読みながら理解して いる。社会は学校のプリントを用い、 やりとりをしている。

7	中2 タガログ語 英語	国語 理科	大学内 教室	金 16:00- 18:00	2005年1月	同じクラスの子どもからLAMPの事を聞いた。学校の支援教室(放課後)があるが、家の用事(妹の面倒)で参加できないのでLAMPで勉強したい。	英語母語話者がいなく、一人で支援。「メロス」は英訳(事前に家で読んでくる)と日本語あらずじで内容理解。今後も母語話者がいなければ、関連事項の英語資料を用意する。
8	中2 中国語	英語	在籍校	金 15:30 ~ 17:00 (*'06.2月終了)	2005年8月	2005年9月より支援開始。在籍校の保護者がランプのことを知っており勧めてくれたとのこと。	英語の教科書の内容理解を中心に中間・期末テストに向けて文法項目を補う学習を行なった。補助教材としては、教科書の内容理解を深めるための自作のワークシートや教科書ガイド等の練習問題など。ヒットソング「青春アミーゴ」も本人の希望で学習。
9	中2 韓国語	国語	大学内 教室	水 17:00 - 18:30	2004年12月	取り出し授業が終わり、母学級に入った後、国語が全く分からず、本人いわく「国語は無理なのかな」とあきらめていた。しかし、もともと負けず嫌いで勉強熱心な性格のため、日本語ではなく国語の勉強ができるところを探して、LAMPにたどり着いた。	日本人支援者と母語話者によるチームティーチング。ワークシート利用。
10	中3 ポルトガル語	国語	大学内 教室	火 17:30- 19:00	2000年12月	区のセンターから紹介される。高校進学にともない支援終了。	母語話者と日本人支援者によるチームティーチングを行っている。教科書の母語訳と母語によるワークシートを使用している。
11	小3 タガログ語	国語他	大学内 教室	終了	2003年3月	日本語がわからず、授業にまったくついていけない状態だった。母親の日本語も十分ではなく、家庭だけでは、対応しきれなかった。担任の先生に相談し、2003年5月紹介される。	日本人支援者と母親がクラスに参加。母親の負担にならない範囲で教科書の母語訳と母語によるワークシートを使用。担任の先生の理解・協力を得てLAMPでの支援の他、週1回在籍校に様子を見たり手伝ったりしに行っている。
12	中3 韓国語	国語	大学内 教室	終了	2004年3月	本人から国語の勉強がわかるようになりたいという要望がでた。区派遣の通訳が、1週間に数回の通訳だけでは対応しきれないと判断し、2003年4月紹介される。	日本人支援者と母語話者がクラスに参加し、チームティーチング。教科書の母語訳と母語によるワークシート使用。
13	高2 タガログ語 英語	社会	大学内 教室	終了	2001年9月	2002年3月中学3年生時、担任の先生からの紹介。来日したばかりで、日本語があまり話せなかったため、日本語と教科書学習支援を依頼される。	教科書の母語訳と母語によるワークシートを使用。翻訳は、支援クラスに参加している他生徒の保護者の協力による。

14	中3 中国語	数学	在籍校	水 2:30 - 4:00	1998年8月	中国で小1年までしか終了していなかったが、来日当初年齢の関係で小3に編入された。日本語がわからず、授業についていくのが難しい状態だった。2000年3月区教育委員会の先生から紹介される。	日本人支援者と母語話者がクラスに参加し、チームティーチング。基礎的な学習能力が身につくよう、支援を行っている。教科書の母語訳を使用。在籍校で実施。担任の先生、教科担当の先生と連携。
15	中3 中国語	国語 数学	大学内 教室	木 16:00- 18:00	2000年11月	2001年2月プロジェクトに参加する支援者から紹介される。	日本人支援者と母語話者がクラスに参加し、チームティーチング。国語は日本語と母語で、数学は母語で支援を行っている。
16	中2 中国語	国語 英語	大学内 教室	終了	2001年12月	2002年度教育実習に参加。その後しばらく電話のみのやり取り。2003年10月親からの依頼あり。	母語話者と日本語話者支援者による母語と英語の支援を行っている。日本語から説明に入り、母語で確認するという形
17	小6 英語	社会 国語	在籍校	火 木 15:45- 17:15	2001年	2004年在籍校の先生から支援を依頼される。	日本人支援者が、教科書の母語訳と日本語によるワークシートを用いて支援を行っている。
18	高1 中国語	古文 英語	在籍校	金 16:30 - 18:00	2003年	2004年5月在籍校の先生から支援を依頼される。	日本人支援者と母語話者によるチームティーチングを行っている。古文は日本語で支援を行い、英語は母語と日本語で支援を行っている。
19	中1 中国語	国語	大学内 教室	水 16:30 - 18:00	2001年7月	日本語がわからず、在籍校で取り出し授業を2回実施したが、授業についていくのが難しい状態だった。2003年4月区教育委員会の先生から紹介される。	日本人支援者と母語話者がクラスに参加し、チームティーチング。教科書の母語訳を使用。
20	中3 タガログ語	国語	大学内 教室	金 18:30- 20:00	2001年9月	2002年3月区派遣の通訳から紹介される。	教科書の母語訳と母語によるワークシートを使用。翻訳は、地域に在住するタガログ語母語話者の方の協力による。
21	高1 タガログ語	社会	大学内 教室	休止中	2000年	2003年5月担任の先生からの紹介。来日して4年目で会話に支障はないが、教科学習に問題があることから、日本史の支援を依頼される。	教科書の母語訳と母語によるワークシートを使用。翻訳は、保護者の協力による。担任の先生、日本史の先生と連携。
22	高1 中国語	国語 中国語	終了	終了	1998年8月	2000年3月在籍校からの依頼。同時に、区教育委員会の先生からも紹介される。	日本人支援者と母語話者がクラスに参加し、チームティーチング。教科書の母語訳と母語によるワークシートを使用。
23	小1 韓国語	国語 (絵本)	終了	終了	2003年3月	2003年5月区派遣の通訳から紹介される。友人関係もよくなり、学校の勉強も大丈夫だというお母さんからのお話があった(2003年7月終了)。	日本人支援者と母語話者がクラスに参加し、チームティーチング。在籍校で実施。

24	小1 韓国語	国語	終了	終了	2003年3月	2003年5月区から配布されたちらしを見て、校長先生から紹介される(2003年9月支援終了/日本語力の向上、学校の授業にも問題ないと親が判断。在日期間も残り半年なので、ほかの事に時間を使いたいという希望。)	母語話者が担当。
25	小5 韓国語	国語	終了	終了	2003年3月	2003年5月区から配布されたちらしを見て、校長先生から紹介される(2003年9月支援終了/日本語力の向上、学校の授業にも問題ないと親が判断。在日期間も残り半年なので、ほかの事に時間を使いたいという希望。)	日本人支援者と母語話者がクラスに参加し、チームティーチング
26	中3 中国語	国語	終了 (時間の都合で)	終了	2001年7月	日本語がわからず、在籍校で授業についていくのが難しい状態だった。2002年10月不登校になったのをきっかけに、区教育委員会の先生から支援を依頼される。	日本人支援者と母語話者がクラスに参加し、チームティーチング。夜間中転校後は、電話等で生活相談にのったり、メールでの作文添削等を行っている。また、何か問題が起きた時は学校の先生から連絡があり、両者間の橋渡しの役割を果たしている。
27	中3 中国語	国語 数学	大学内 教室	水 17:00- 19:00	2000年11月	日常会話には不自由しないが、授業にはついていけないことが原因で、2002年9月頃より不登校になる。2003年4月支援クラスに参加している他生徒から紹介される。	日本人支援者と母語話者がクラスに参加し、チームティーチング。
28	小3 中国語	国語	在籍校	木 15:30- 17:00	2003年3月	2003年9月、児童の在籍校から連絡があった。学校から区教委に通訳派遣を依頼したが、児童が来日直後でないため一ヶ月しか認められず、代わりにLAMPを紹介された。	母語話者と日本人支援者によるチームティーチングを行っている。教科書の母語訳と母語によるワークシートを使用している。
29	小6 中国語	国語	大学内 教室	金 16:30- 18:00	2002年8月	2003年4月支援クラスに参加している他生徒から紹介される。	日本人支援者と母語話者がクラスに参加し、チームティーチング。教科書の母語訳と母語によるワークシートを使用。母語による作文指導。